

95 伺います。これは指差す手ですか？

《聖マタイの召命》のイエスの右手

2013・2024

真鍋友範

1 指差していない手・・・・・・・・向こう側を意味する手

手首より先に力が込められていない。指も途中の関節部で自然に折れている。
あなたも通常、このような気合ない指差し動作を行いますか？



* <https://commons.wikimedia.org/wiki/User:Masur> からの図版

* 【向こう側】を意味する、回転運動の右手と解釈するべきです。

* 2013年以来継続して小生は主張中。



* この部分（オレンジの矢印）で手首を折っている。前方の手先は脱力している。

* 脱力すると、自然に、人差し指は、誰でも第二関節で折れ曲がる。

間違った解釈を放置して、国内・世界に広めることは、止めるべき行為でしょう。

勿論、バロック・リアリズム絵画を開拓したカラヴァッジョに対する侮辱であることは、言うまでもありません。

意義のない空虚な《マタイの論争》も、即刻中止するべきだ。



収税所の窓を通してマタイを見たイエス一行は、玄関側に回り、収税所のドアを開けた。

突然のイエス一行の入室と視線を感じた納税者の一人である髭の男は、イエスに向かって、二段階の連続質問動作で尋ねた。

『お探しの人は、私ですか、それとも隣のメガネの収税人ですか』

【親指をヒゲ男自身の胸に向け、続けて人差し指を隣のメガネの男に向けた】

イエスは、この質問を受け、次の三段階の連続回答動作で答えた。

イエスは、まず左手を開いてヒゲの男に掌を見せ、質問を受容する意思を伝えた。

次に、イエスは一歩左側に右足を踏み出して、自身の視点を横に50センチほど移動させ、呼び出し対象者（マタイ）の顔が見える位置に移動した。

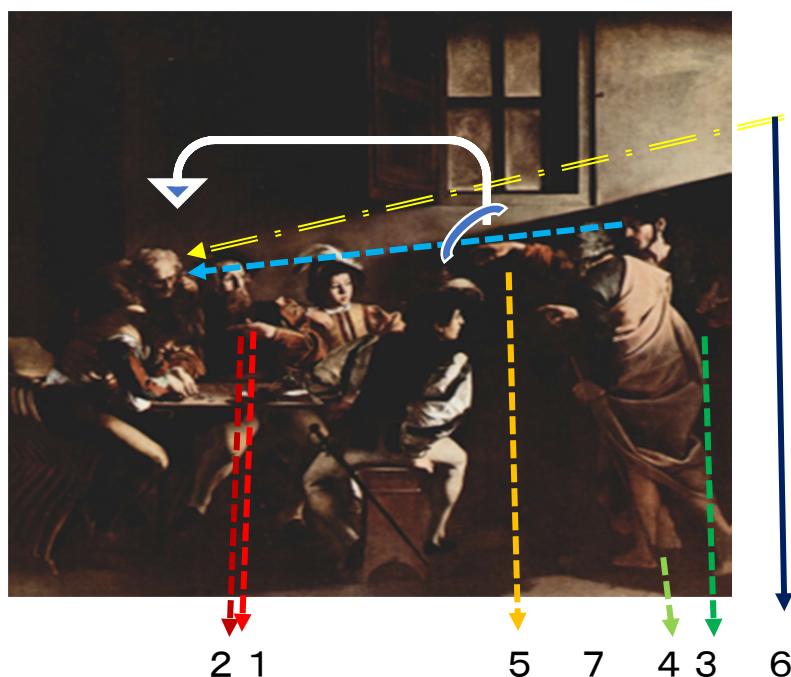
そうして、最後にイエスは、右腕を廻して向こう側の人物と答えた。

（収税所の西側の高窓からは、この時父なる神からの一条の光が、マタイの頭頂部を点光となり、イエスを導いていた。）

同時に、イエスは言った。『私に従いなさい』

眼鏡の収税人は、自分を呼ぶイエスの視線と手の動作を読み取り、机に寄りかかった姿勢から、体を起こすように立ち上がり、無言でイエスに従った。マタイへの召命は完璧に完了したのだ。

* 聖書マタイ伝9—9に、マタイは椅子から立ち上がったとは記述されていない。



- 1) 親指を胸に当てる髭男の動作「私をお探しですか」
- 2) 人差し指の動作「それとも、隣のメガネの収税人ですか」
- 3) イエスの開いた左手による質問受容動作【答えよう】の意味
- 4) 右足の一步左側への位置移動
その意味は【メガネの収税人の顔が見える位置への視点移動】
- 5) イエスの右腕・手首の回転動作
【手首より先に力無し・指差し動作では無い】
「向こう側の眼鏡の人だ」の意味
- 6) 父なる神からの啓示の光線【頭頂部の点光】
- 7) メガネ男の顔付近でイエスの廻した手が止まる。「私に従いなさい」

マタイ（＝眼鏡の収税人）への召命は、カラヴァッジョの構想した連続2段階質問動作と、連続3段階回答動作にて、疑う余地なく、明瞭完璧に完了してい

る。

[PREV](#) ← ● → [NEXT](#)